

シリーズ  
原発・いのち・みらい  
その51

第14回シリーズ講演会

放射線被ばくの健康影響

理事 大浜 和憲 (白山市・小児外科)

2017年11月19日 (日)、ホテル金沢にて、所主任研究官を経て、高木留学。放射線医学総合研究所および原子力教育を考

「3・11甲状腺がん子ども基金」代表理事を務めておられる崎山比早子氏を講師に「原発・いのち・みらいシリーズ」講演会を開催し、時雨に煙る悪天候の中、93人が参加しました。崎山氏は、東京に生まれ、千葉大学医学部を卒業、大学院に進んだ後、マサチューセッツ工科大学に



講師の崎山比早子氏



93人が参加し開催された (11月19日・ホテル金沢)

児童の発症が発覚したのです。この症例は2016年、前半に福島県立医大で手術が行われましたが、「経過観察」という言葉が何人も聞かれました。この原因を知らないうちに、結婚、学業、就職、治療費、出産、経済・生活面、生命保険、差別、部活や入学など諸々の不安を抱えている人が多く、甲状腺がんの発症は、検査に当たっては現場での丁寧な説明を徹底する判断力を付けておくことが大事」という言葉で締めくくられました。

医療被ばくの現状

医療被ばくについては、まず日本のCT装置の多さに言及されました。日本には、全世界のCT装置の3分の1があるとされており、100万人あたりで107・12台(2014年現在)。これはアメリカの約2・5倍、ドイツの約3倍、イギリスの約13倍です。また、75歳までの全発がん数のうち、診断用X線による発がん数の割合も

日本が3・2%(7587人)で世界1位となっています。職業被ばくが最も多いのは医療従事者で、職業被ばくには線量限度(1年間につき50mSv、5年間で100mSvを超えてはならない)が定められています。患者さんには、「限度を決めてしまうと必要な検査や治療が受けられなくなるから」という理由で線量限度の規定がありません。

「年間20mSv」という避難指示解除の基準は、ICRP(国際放射線防護委員会)による勧告や、原子炉等規制法など日本の国内法令による公衆の年間被ばく線量限度(1mSv)と比べ、あまりに高く、解除の要件と認めるのは大問題です。ましてや子どもは成人に比べて放射線感受性が高いので、この基準で子どもを帰還させることにはとても納得できません。ところが、「良識ある専門家」と称している人たちは、「個人の線量や影響に関する情報は、本人や家族の精神的負担になりうることを認識し、検査にあたっては現場での丁寧な説明を徹底する判断力を付けておくことが大事」という言葉で締めくくられました。

100mSv以下はリスク検出不可?

国側の放射線専門家は、「放射線検査による健康影響、特にCT検査による影響については、100mSv以下の低線量の場合、放射線の発がんリスクは実証されていません。発がん率の増加はあったとしても小さく、自然の発がんの地域差や人種差の中に埋もれて疫学的に証明するのは困難」と主張しています。しか

し、米国立衛生研究所のウェブサイトには、「放射線には、がんのリスクが0で安全であるという線量は存在しないという合意が国際的に成り立っている」と書かれています。CT検査による線量依存性白血病と脳腫瘍リスクについて、骨髄線量が多くなれば白血球が増え、頭部線量が多くなれば脳腫瘍も増加します。

「現状を変えていくためには、個人個人が判断力を付けておくことが大事」という言葉で締めくくられました。

甲状腺がん多発と子ども基金設立

甲状腺がん多発と子ども基金は2016年7月に設立されました。事故当時18歳以下で放射線プルームが通過した1都15県に居住しており、25歳以下で甲状腺

がん多発と子ども基金は2016年7月に設立されました。事故当時18歳以下で放射線プルームが通過した1都15県に居住しており、25歳以下で甲状腺

がん多発と子ども基金は2016年7月に設立されました。事故当時18歳以下で放射線プルームが通過した1都15県に居住しており、25歳以下で甲状腺

医療被ばく記録手帳

放射線被ばくは、何十年後かにがんや心臓病などにかかる危険性が増えます。それは線量に比例して増加し蓄積するので「ある値以下だと安全」ということはありません。

放射線による検査の前に確かめること

- 今、放射線検査をする必要があるか。
- 同じ放射線検査を以前にしたかどうか。
- していれば、以前の検査結果を使えないか。
- 放射線を使わないもっと良い検査方法はないか。
- 放射線検査の中でもっと良い検査方法はないか。

検査を受けた場合、医師あるいは技師に線量を記入してもらうか、ご自分で記録します。

医療被ばく記録手帳 (高木学校 発行)

CTを使用する際に大切な条件は、利益がリスクを上回っていることであり、なるべく低い線量で良い画質

CTを使用する際に大切な条件は、利益がリスクを上回っていることであり、なるべく低い線量で良い画質

CTを使用する際に大切な条件は、利益がリスクを上回っていることであり、なるべく低い線量で良い画質